

新型コロナウイルス感染症について ver.10

R2/4/25 院長

★フィジカル・ディスタンスとは？

人と人との距離を開ける感染予防策を今までは、ソーシャル・ディスタンスと言っていましたが、人との心の繋がりも距離を取るような印象を与えるため、単に1mの距離を開けるだけの意味を込めてフィジカル・ディスタンスと言いつつ変わってきています。体の距離はあってもお互いに思い合う心は離れていませんよというメッセージが込められています。

★感染力 720万人 vs 12388人

今シーズンのインフルエンザの流行はこのコロナ騒動にかき消されひっそりと流行の幕を閉じました。過去10年で一番少ない流行でしたが、国内で約720万人がインフルエンザに罹患しました。4/24時点で新型コロナウイルス感染者数は12388人とインフルエンザ感染者数の約0.2%しか感染していません。

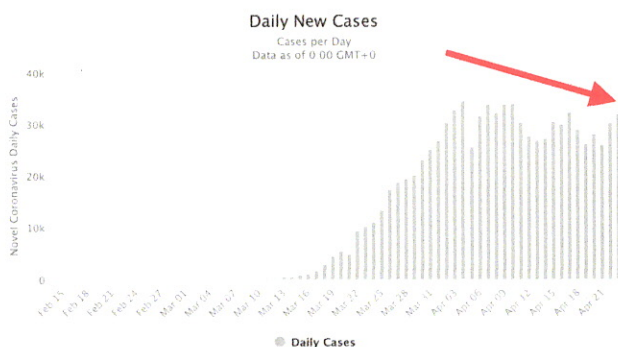
★死亡数 94654人 vs 317人

H30年の厚労省死亡統計では1年間の肺炎死亡者数は94661人です。肺炎の原因菌として一番多いのが肺炎球菌です。大雑把に見積もって約1/4が肺炎球菌による肺炎とすると、約24000人が1年間で肺炎球菌性肺炎で亡くなります。肺炎球菌性肺炎は予防のワクチンもあり、治療の抗生剤があってもこの数なのです。かたや新型コロナウイルスはワクチンもなく、有効な薬もない状態でこの数なのです。怖い病気であることは間違いありませんが他の病気との比較は重要です。

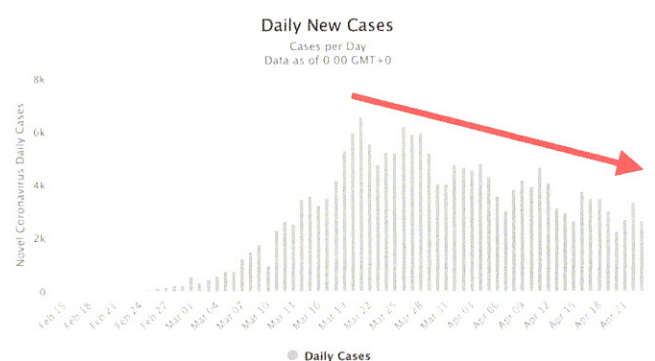
★殆どの国でピークは超えている！

正しく数字を見れば下図のように米国・イタリア・ドイツ・韓国等総患者数が多い先進国はほぼ全ての国でピークを超えています。新聞やテレビでの報道だけを見ていると怖いことばかり報道されていますが、世界的には実は最悪の時期は確実に過ぎているのです。

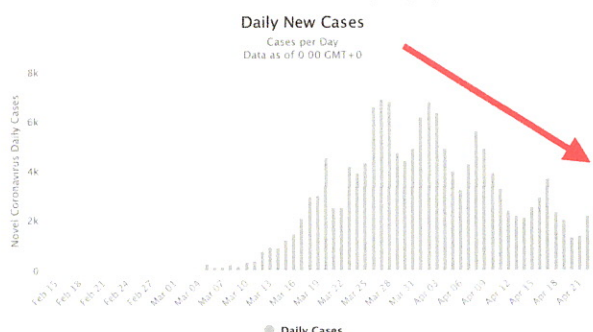
Daily New Cases in the United States 米国



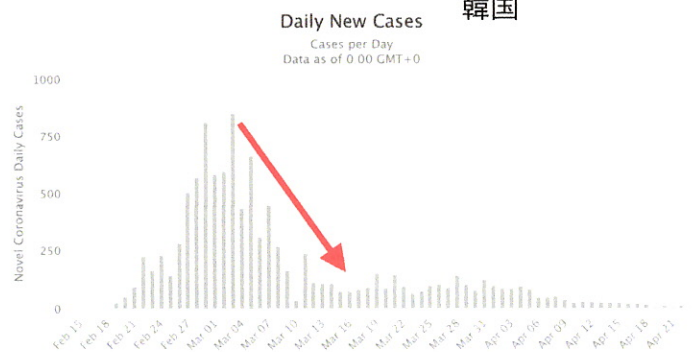
Daily New Cases in Italy イタリア



Daily New Cases in Germany ドイツ



Daily New Cases 韓国



★なぜ報道は真実を伝えないのか？

昨年のベストセラーとなったハンス・ロスリングの『FACTFULNESSファクトフルネス』に書かれている内容です。

”ファクトフルネス（真実を見抜く力）とは・・・ネガティブなニュースに気づくこと。そして、ネガティブなニュースのほうが、圧倒的に耳に入りやすいことを覚えていること。物事が良くなったとしても、そのことについて知る機会は少ない。すると世界について、実際より悪いイメージを抱くようになり、暗い気持ちになってしまう。”

今の日本のファクト（事実）を見てみましょう。

表1.世界各国の総患者数順位

1 米国	886709
2 スペイン	219764
3 イタリア	189973
4 フランス	158183
24 日本	12368

表2.世界各国の死亡者数順位

1 米国	50243
2 イタリア	25549
3 スペイン	22524
4 フランス	21856
30 日本	328

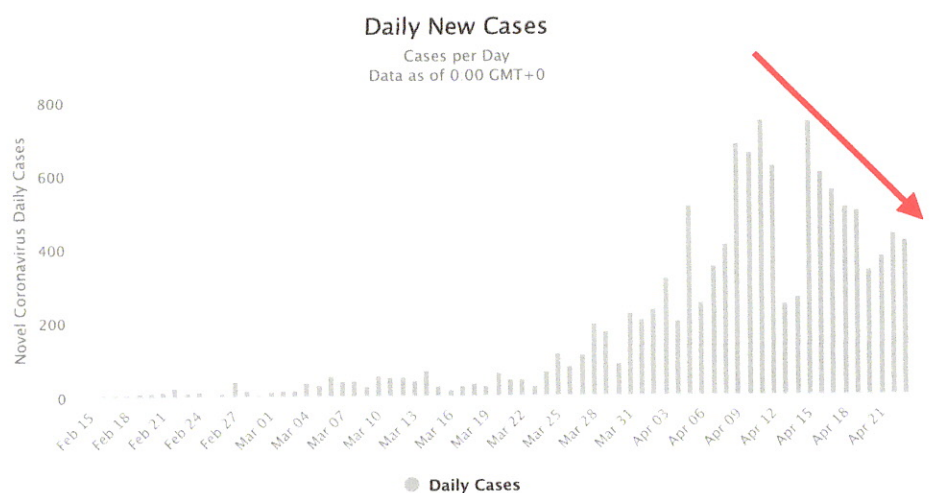
表3.単位人口当たりの死亡者数

1 サンマリノ	1179
2 ベルギー	576
3 スペイン	482
15 米国	152
91 日本	98

感染者数と死亡者数はそれぞれ米国の約1.4%、0.7%と非常に低い値です。国の人口が多ければ患者数・死亡数も増えます。そこで単位人口あたりで死亡数を比較してみても米国の約半分なのです。右図のように1日当

たりの新規患者発生数は日本でも減少しており、日本でもピークを超えている可能性があります。中国・韓国では1日あたり10人以下までに減少しています。まだまだ油断はできませんが、正しい情報からしか正しい行動は生まれません。怖がり過ぎず、油断せずにstay home！（自宅にいきましょう）

Daily New Cases in Japan



”あなたは働かなくなるかもしれませんが、仕事がなくなったという意味ではありません。あなたの仕事は命を救うことです。

人に優しく。家にいましょう。そして、感染の連鎖を断ち切りましょう。”

—ニュージーランド首相ジャシンダ・アーダーソンの国民に対する言葉—